

Field Day,ACAG,東京 CW

&多摩川コンテスト

またまた無駄に長い 史上空前の規模でお送りする誌面のムダ使い

2022 夏～秋の活動報告詰め合わせセット

テキスト～に読み飛ばしてください σ^_^;

JM1LZT 富山俊一

厳しい暑さの日々だった今年の夏は、私にとっては、久々の充実の夏でした。

7月の6m and down に続き、8月には3年ぶりとなるフィールドデーに参戦。さらに秋風が立ちはじめた10月には例年通り全市全郡、東京CW、そしてとどめは11月の多摩川コンテスト。まあ、家庭内SWRが高くなることを除けば、実に楽しい日々でした f^_^;

今年から約40年ぶりに(つまりは社会人になってから初めて)世間なみの土日休みになり、コンテスト活動が実にやりやすくなりました。多くのコンテストの本番は土曜の夜スタートなので、椅子取りゲームの厳しい場所に移動する場合は金曜の夜から現地入りしたいわけですが、今年はそのあたりが実にスムーズになったというわけです。

真夏の戦い第二弾、フィールドデーは6m and downと同じ日光の半月山にJA1ZCXの友人2人と一緒に行ってきました。

私は毎度の50MHz、あとの2人は28MHzと144MHzに。土曜の午後には各自アンテナも上げ終わり、念のためとバンド間干渉のチェック。特に問題はないだろうと思っていたのに、なんとここで大問題発覚。50MHzが他の2バンドに干渉しまくり^^;

アンテナの向きを変えたり、フィルターを入れたりしたものの、埒あかず…

結局 28MHz は諦め 21MHz に。また、50MHz の 7 エレは南に向けると 144MHz に干渉するので南以外に向けることに…私的には痛恨です。日光から見て、南=関東平野なわけで、大栗田に直接アンテナを向けられないというのは、致命的。さらに困ったことに、サブの 4 エレは 21MHz に全方位干渉しまくりで使用不能。両手両足を縛られたかのような状態での参戦となってしまいました。

show must go on それでもコンテストはやってきます。120~210° 以外の向きにアンテナを振りながら、CQ TEST…

しかし捨てる神あれば拾う神あり。7 エレのワリにはブロードな私のアンテナの特性と、地形による反射(?)などの恩恵か、案外ログは進みました。特にマルチはかなり稼げてしまい、2,3 エリアのコンプリートを含め最終的には 30 マルチ、交信数も 290 に。もちろん真南に向けることが出来ていたら、もう少し局数は稼げていたかもしれませんが、不自由な中、出来るだけのことはやったという、妙な達成感が残ったのも事実です。



2022FD@日光の朝の「日光」(^o^)

例年参戦している9月のXPOコンテストは、仕事の日程の調整がつかず断念。10月の**全市全郡**へ。

このコンテストは昨年、私史上初めてMクラスで全国優勝を果たした思い入れのあるコンテストです。フィールドデーの反省も踏まえ、万全の態勢で臨みました。

場所はまたしても日光半月山。フィールドデーで144MHzをやった友人と。今回彼は430MHzエントリーで互いに干渉なし♪今度こそアンテナぶん回し放題です、わあ〜い(^.^)

開始前には仮眠も取り(24時間コンテストなんですね)、いざ本番。夏のコンテストと違い、Eスポなどは期待出来ない状況なので、まずは念願の(?)南向けビームで関東平野を舐め尽くし、深夜〜早朝は北や西にビームを向けマルチ上積み。去年の自分を上回るペースでログを進めることが出来ました。コンディション把握のため、ちょいちょいSSBも聞きに行きましたが、参加者が少ないのか私の所には、あまり聞こえてきませんでした。どうもこの数年、私が現役復帰したあたりから、CW>SSBという構図に変化してるように感じます。PCとの組み合わせにより、明らかにCWの方がフォーンより楽に運用出来る技術が普及したせいでしょうか。まあ、私なんかそれに思いっきり乗っかっちゃってる典型的な人なわけですが…。もちろん自分の参加部門のエントリーが増えるのは大歓迎ですが、それにしても近ごろのSSBはさびしい。もちろん7MHzあたりでは、SSBの参加者同士の周波数の奪い合いが続いているのだろうとは思いますが、やはり50MHzも、まだまだSSBの方々にかんばっていただきたいものです、まっ、自分ばかりつきしやってないわけですがf_;

日曜も夕闇が迫り始める頃にはペースは大幅にダウン。18時以降は5QSO/時ぐらいになってしまうのは毎度のお約束とは言え、精神的に(もちろん寝不足の肉体的にも)キツイです。ただ、ここでリタイアしてしまったら元も子もない。とにかく完走目指してPCのFキー押しの儀式(CQ送出のコマンド)を続けます。い〜かげんうとうとしかけているところに信号が聞こえハッと我にかえることの連続f_;

紆余曲折はあったものの、終わってみれば、このコンテストでは過去最高の交信数、マルチ数(313×172)で終えることが出来、それなりの手応え感を持って日光を去ることが出来ました。



2022ACAG@日光のまたまた朝の「日光」

2週間後の東京 CW は、これまでどうしても2位どまりのコンテスト。昨年は全市全郡コンテストで成果を上げることが出来た八王子市内の小高い場所から参戦したものの2位。今年は場所を変えようかとも思いましたが、朝6時スタートという移動組にとっては過酷なルール故、なかなか適切な場所がなく、結局今年も昨年と同じ八王子市内の小高い場所からに。土曜の日中に設営を済ませ、車中泊して日曜の早朝からの運用開始でした。

今年のスペシャルステージは、このところ 50MHz CW 部門で勝ったり負けたり負けたり負けたりをしているライバルの方との土曜の夜にやった SSB での前夜祭。あちらは FT-690 に内蔵ロッドアンテナという、ちょ〜カジュアル仕様(もちろんコンテスト用に本気仕様のセットも準備されました)でアルコール変調も入り実に楽しいひと時を過ごすことが出来ました♪コンテストで競い合っているからこそ、共鳴出来る部分も多く、楽しく実りある時間だったのは言うまでもありません^^

翌朝5時には起きなくてはならないので、後ろ髪をを引かれながらも22時過ぎには前夜祭をお開きにし、就寝態勢へ。しかし、「遠足の前

の日現象」で寝つけない^^;

結局本当に寝ついたのは多分午前1時過ぎ…意識が飛ぶ前にスマホのアラームを5分おきに10段ぐらい仕掛けてはおきました。

朝5時。アラームの音に一発で目覚めたのは、仕事ではあり得ないこと。いつだって遊びは全力です(^。^)

コーヒーとタバコで目を覚まし、PCを立ち上げ、無線機をつけても勿論聞こえてくるのはノイズだけ。少しずつ明るんでくる正面の東の空を眺めながら、その向こうに私を待ってる(はずの)コンテスト参加者に思いを馳せたり馳せなかったり念を送っているうちに時計は6時に。戦闘開始です。いつものこととはいえ、さすがに朝6時台は参加者も少なく、CQを出してもあっという間に呼ばれなくなり、呼びまわりに。それもほどなくネタ切れとなり、あとはお約束の「Fキー押しの儀式」の素振りへ。昨年よりやや局数、マルチとも伸びは鈍く、焦る気持ちを抑えながら、RBNを見たりバンド内をリサーチしたり。

最終的には昨年をやや下回るスコア(99QSO 146×34=4964)でタイムアップ。後日、前述のライバルにしてお友だちとの情報交換の結果、またしても良くて2位ということが判明f_^^;どお~しても東京CWは勝たせてもらえません。まあ、それが次へのモチベーションになってたりもするあたりが苦しくも楽しい要因だったりするわけですがσ_^^;



2022 東京 CW コンテスト@八王子 日の出直前

そして迎えた多摩川コンテスト。過去4年連続で流域外電信・電話で参戦し、6位、1位、2位、2位ときてますが、果たして今年は…また2位？妙なプレッシャーを自分でかけないようにマインドコントロールし(?)平常心(という体で)決戦へと臨みました。

例年通り、奥多摩周遊道路のゲート前に土曜の夜(というか日曜早朝)に着き、とりあえず椅子取りゲーム「だけ」は連勝。外が明るくなると、これまた例年通り流域内絶賛2連勝中の横浜の某有名コンテスターの方が私のすぐ後ろに。エールの交換をしているうちに9時のゲートオープン。

浅間尾根駐車場でいつも通りの設営開始。今回の新基軸は2エレデルタループでした。故 JH1AQZ 信太さんのレガシィを池さんから譲っていただいたものです。偉大な先輩方から手渡されたバトンを使い、このコンテストで勝ちたいと強く思いました。ただ、日頃6エレだの7エレだのを振り回している身故、正直言って2エレがコンテストで使えるのか最初は疑問でした。しかし、多摩川コンテストの場合、利得の絶対値の高さより、そこそこの距離をブロードなビームパターンで広くカバーした方が有利ではないかと気づき、メインも7エレではなく6エレとし、2エレデルタループとのコンビでトライです。意図的にアンテナ系をダウンサイジングしたのは、今回が初めてかもしれません。このアンテナ、機械的に非常に高精度に作られており、組み立てはいたって簡単。ただ、最初まったく組み立て方が分からず、久保田さんに写真付きのマニュアルをご提供いただき、どうにかこうにか組み立てられるようになったということ、正直に告白しておきます。久保田さん、本当にありがとうございました^_^お世話になりっぱなしのワタクシです。

毎度山奥での孤独な戦いには慣れていますが、なんと今回は想定外の応援団が。私のメイン機材ともいえる「ふみてーたー」(ローテーターでおばけポールを回せるシステム)を提供してくださった JH1LTR

古池さんが、わざわざ江戸川区から浅間尾根まで高速を飛ばしてご降臨。ご記憶の方もいらっしゃるかと思いますが、今年の電波伝搬実験にも参加していただいたFBなOMです。機材の自作はもとより、それらを駆使しコンテストにも積極的に参加されている、万能型のアクティブハム。こちらにいらっしゃるというのは当日の朝知りましたが、なんと心強かったことか。本当にありがとうございました♪

13:00、戦闘開始です。まずは定石通りCWでCQ大会から。今回は最初の1時間で120QSOぐらいを目標としてましたが、実際には70分で90QSOちょっとやったところでSSBへ。CW3点、SSB2点で先にやった交信のみ有効という独特のルールが毎回悩ましくも楽しすぎます。CWの時点で「今年は参加者少ないかも」とは薄々と感じていましたが、SSBに移ってみて、それは確信に変わりました。天気のせいか、明らかに移動局を中心に参加者が少ない。時折り4QSO/分ぐらいにはなりますが、去年より低調なのは明白です。もちろん文句を言っても始まらないので、とにかくCQを出し、呼ばれなくなったら呼びまわることの連続。24時間コンテストにはない、高密度な時が流れ、あっという間に2時間経過。

目標としていた200QSOには大幅に届かず154QSO止まり。マルチもフルマルチ(23)を目指していたにもかかわらず、22。羽村市が残ってしまいました(154QSO $397 \times 22 = 8734$)今回、240の掲示板、LINEグループで多摩川コンテスト参戦を大々的に宣伝し、ネックになることがある、あきる野にお住まいの方々中心に「事前運動」をやりました。おかげさまで、あきる野は確保。ところが、事後ジビエさんに「羽村は自宅から道路挟んだ目と鼻」と聞き大ショック。羽村からの運用をお願いしておけば、フルマルチでした…^^;

やれるだけのことはやったとは思いましたが、不完全燃焼感が残る結果に。しかも、そんな暗い気持ちに追い打ちをかけるように非常の雨が… 合羽を着ての撤収作業は効率が悪く、かじかむ手では思うよ

うにネジ類も、回せない。結局日没後も作業は続き、奥多摩周遊道路のゲートを出たのはクローズ 10 分前ぐらいでした。



2022 多摩川コンテスト@雨の浅間尾根駐車場

ネットの発達がアマチュア無線人口の減少に大きく関わっているという声が少なからずありますが、ネットのおかげで、無線がやりやすくなっているという側面も。多摩川コンテスト終了後、他の参加者のみなさんの Twitter、ブログなどを読んでみると、実は自分のスコアは思ったほど悪くはないことが分かってきました、もちろん、限られた範囲での情報ですから過信は出来ませんが、分かっている範囲では、参加部門のトップになれたかもしれません。まあ、例によって果報は寝て待ちましょう。

私の 2022 年コンテストシーズンが終わりました。閉店ガラガラ、冬眠開始です。多少の進歩はあったかもしれませんが、反省点も多く残りました。しかし、最大の収穫は、コンテストそのものの楽しさもさることながら、これまで以上に人と人の結びつきの素晴らしさを体験、確認出来たことでした。本当に多くの方々に支えられながらの無線三昧なんだと、あらためて強く思いました。

ご支援、ご声援いただいたみなさん、本当にありがとうございました。来年こそ、これまで以上の結果を出し、少しでもご厚意(ご好意)に応えられるよう、冬休みの宿題に取り組みたいと思います。

後日談

フィールドデーの結果は全国2位。トップの方と同マルチで3QSO 差の敗退でした。あとちょっととは言え、その「ちょっと」をどう埋めるかが、冬休みの大きな宿題になっちゃいました…嗚呼^^;



2022 8月@日光のトンボちゃん♪